

道づくりだより

第24号

2010. 2 島根県道づくり調整会議



松江第五大橋道路 写生大会

【未来をひらく松江第五大橋道路賞】島根県土木部長賞受賞作品
作品名「遠くへ伸びる橋脚」津田小学校 五年 石橋亨将さん

CONTENTS

1. 松江第五大橋道路写生大会の表彰式が行なわれました
2. 山陰自動車道や浜田自動車道が高速道路無料化社会実験の対象路線になりました
尾道松江線サービス施設等アンケート調査実施中！
3. 砂子原農道が全線開通します
4. 農山漁村活性化プロジェクト支援交付金「邑南地区」の紹介
5. 「道路ふれあい月間」推進標語の募集

松江第五大橋道路写生大会の表彰式が行なわれました

平成24年度末の暫定二車線完成を目標に整備を進めている松江第五大橋道路の建設工事現場において、県建設業協会松江支部の主催で、平成21年10月15、20日に現場近くの朝酌小学校、津田小学校の児童を招いて写生大会が開催されました。

作品総数559点の中から同協会支部長賞をはじめとする29点の入賞作品が選ばれ、平成22年2月8日に表彰式が行なわれました。

このうち県からは、土木部長賞(表紙)をはじめ3点の入賞作品が選ばれていますのでご紹介します。



みんなをつなぐ

松江第五大橋道路賞

(道路建設課長賞)

作品名

「すごい力でこうじを
しているよ」

朝酌小学校二年

稲場真梨珠さん



笑顔をつなぐ

松江第五大橋道路賞

(高規格道路事務所長賞)

作品名

「高所作業車に
のったよ」

津田小学校三年

田崎侑也さん

山陰自動車道や浜田自動車道が 高速道路無料化社会実験の対象路線になりました。

今年6月より実施される予定の「高速道路無料化社会実験」の対象路線に、県内の高速道路が選定されました。

島根県の高速度道路は、短い区間に無料と有料が混在し、利用しにくい状況にありましたが、今回の無料化社会実験により、宍道湖中海圏域の連携強化や広島都市圏との交流促進、現道の渋滞緩和、物流コストの低減、観光客の増加など、地域活性化を図る上で様々な効果があるものと期待されます。

<< 無料化社会実験の対象路線（島根県関連分） >>

安来道路

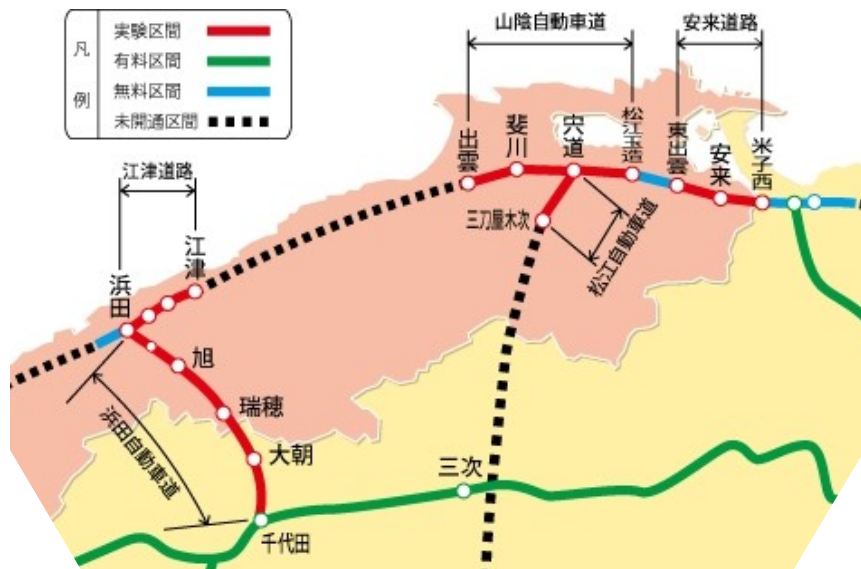
米子西 IC ~ 東出雲 IC

山陰自動車道及び松江自動車道

松江玉造 IC ~ 出雲 IC・三刀屋木次 IC

浜田自動車道及び江津道路

江津 IC・浜田 IC ~ 千代田 JCT



尾道松江線サービス施設等アンケート調査実施中！

現在整備が進められている尾道松江線のサービス施設等の必要性について、皆様のご意見やご要望を伺うことにより今後の検討の基礎資料とするため、尾道松江線建設促進期成会（事務局：広島県土木局土木整備部道路企画課）がアンケート調査を実施しています。ぜひご協力ください。なお、回答いただいた方のうち抽選で30名様に図書カード1,000円分が進呈されます。

締切：平成22年4月30日まで

内容：サービス施設（PA、SA相当の施設）やガソリンスタンドの設置場所、高速バスの運行等について

詳細：広島県ホームページ

<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/page/1171508314996/index.html>

すなごはら 砂子原農道が全線開通します

『しまねの農業農村整備すごろく』

キャラクター



ドジョウのどうじょ君

砂子原農道は雲南市加茂町砂子原と加茂町東谷を結ぶ全長約3kmの農道です。平成9年から整備を進めてきましたが、今春完成することとなりました。ただいま3月末頃の開通を目指して工事を進めています。

農道周辺の地域では、エコ米である「銅鐸の響き加茂米」などのお米やエコロジー栽培のお茶の生産が盛んです。農道の開通により集出荷施設や市場への輸送時間、距離が短縮されます。

また、地元産の煎茶、番茶や手作り豆腐などの生産、販売も行われており、昨年秋には農道の起点の砂子原自治会館（下記位置図 付近）で、地元自治会主催イベント「お茶の娘菜祭」（茶、豆腐の販売、出店など）が開催されました。

農道沿線には見事な茶畑が広がっていますので是非ご覧ください。

位置図 ~ は次頁の写真位置



県内位置図



国土地理院HP 地図閲覧サービスより

砂子原農道の様子

～*～*～*～*～ 現在も通行可能な区間 ～*～*～*～*～



砂子原農道 起点 (砂子原地内)



砂子原農道と茶畑 (砂子原地内)

～*～*～*～*～ 工事中の区間 (2月中頃) ～*～*～*～*～



アスファルト舗装の下の路盤を敷いています (東谷地内)



アスファルト舗装が完成しました (東谷地内)

完成に向けて頑張っています。開通乞うご期待!



事業概要

事業名：基幹農道整備事業

(旧農林漁業用揮発油税財源身替農道整備事業)

地区名：砂子原地区、砂子原2期地区

工期：平成9年度～平成21年度

延長：3.143m

幅員：全幅員7.0m、車道幅員5.5m

農山漁村活性化プロジェクト支援交付金「邑南地区」の紹介

邑南地区は島根県中央部、中国山地内陸部の中央に位置し、周辺では一級河川江の川沿いの急峻な地形に開けた棚田地帯で水稲を中心とした農業が行われています。



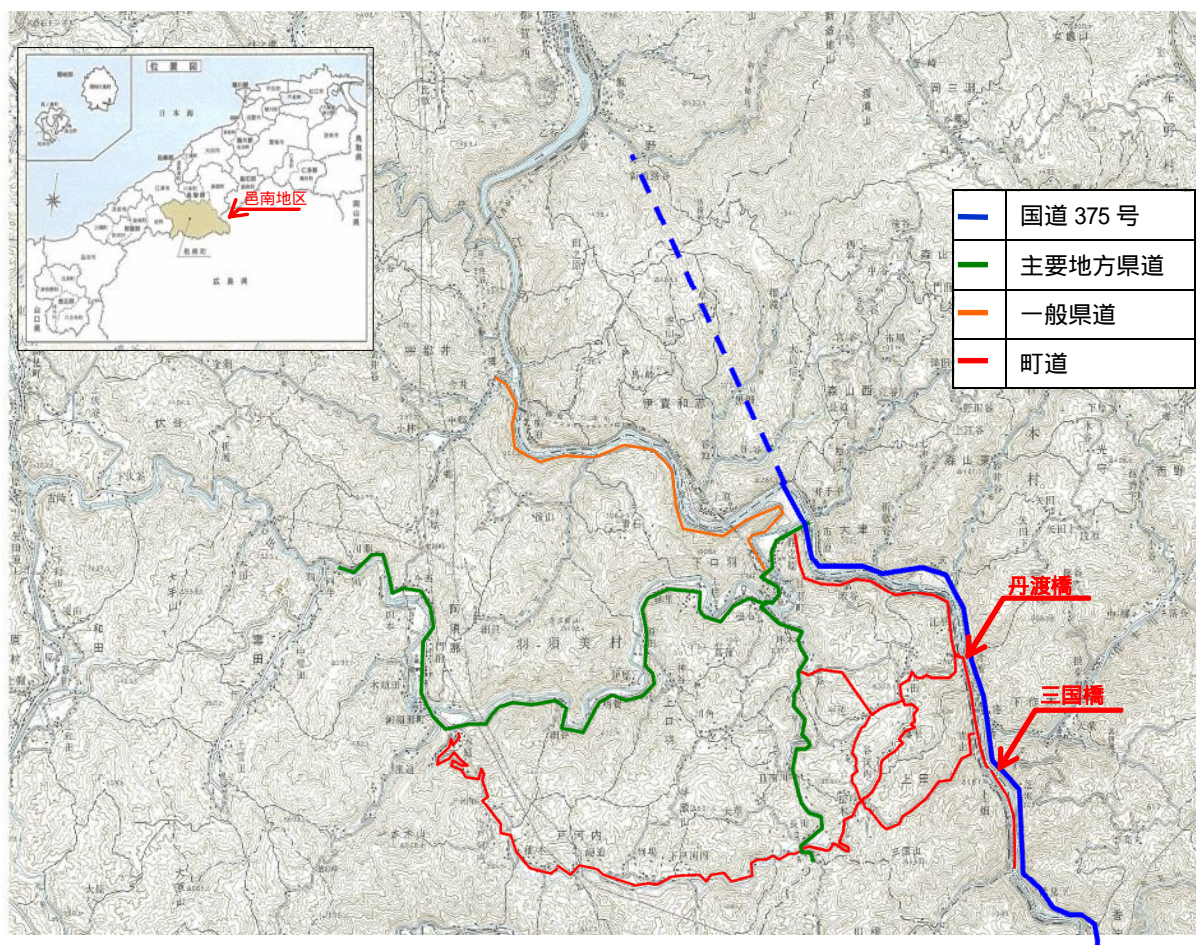
本農道受益地内の棚田

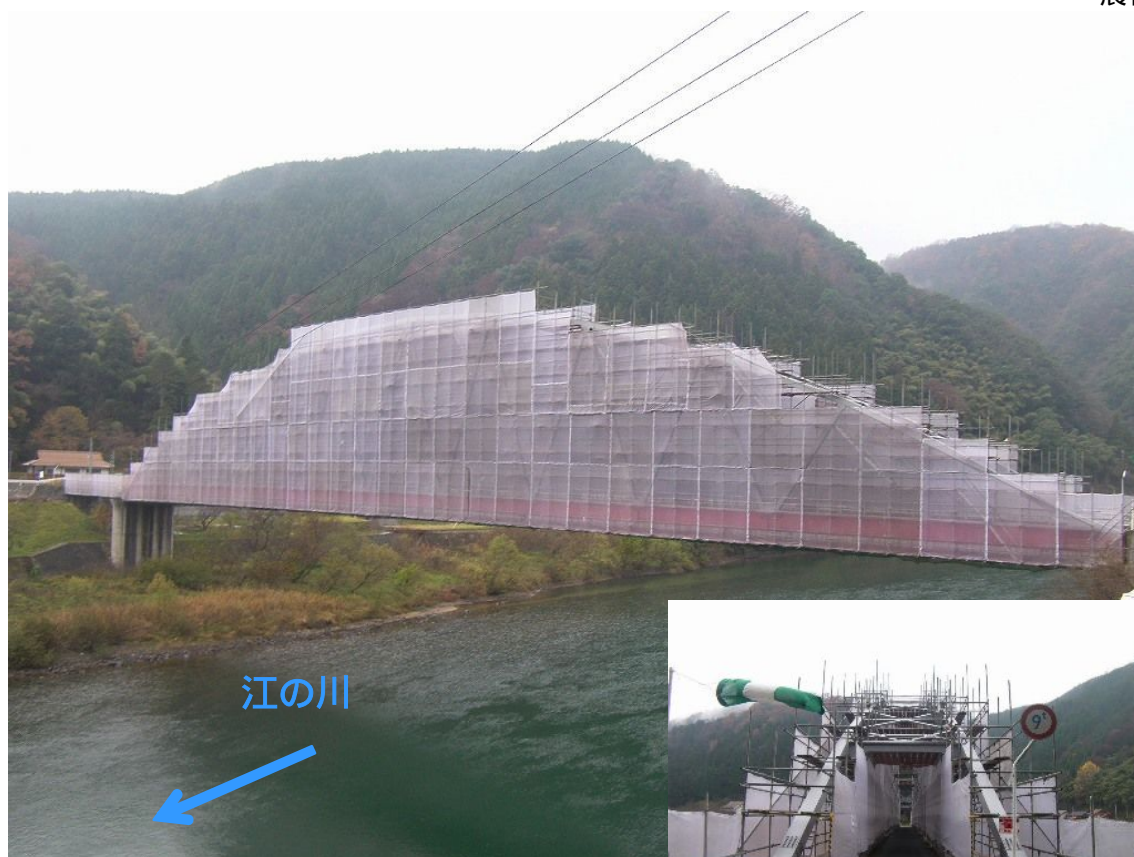
島根県邑南町と広島県三次市作木町の県境を流れる一級河川江の川にかかる農道橋、三国橋および丹渡橋は、いずれもトラス橋であり、三国橋は昭和49年、丹渡橋は昭和52年に建設されました。

しかしながら、供用開始後30年以上が経過して橋梁の老朽化が進行しており、特に三国橋については可動支承の損傷と固定支承のコンクリート根巻きに割れが見られ、安全性を損なっている状況となっています。

また、トラス部は塗装の劣化が進み、通行者に不安を与える外観となっています。このため、農山漁村活性化プロジェクト支援交付金により橋梁の補修および塗り替えを行うことで橋梁性能を維持し、長寿命化対策を図っています。

平成21年度は三国橋の補修工事を行っており、平成22年3月半ばに通行が可能となる予定です。





三国橋の補修工事状況
(右岸側は広島県、左岸側は島根県)



補修前の三国橋の外観



補修された三国橋の外観

・ 構造物概要

三国橋：橋長 129.9m 幅員 3.0m

丹渡橋：橋長 113.8m 幅員 3.0m

・ 事業名：農山漁村活性化プロジェクト支援交付金

・ 施工年度：平成 21, 22 年度

・ 事業費：130,000 千円

・ 事業予定：平成 21 年度 三国橋：橋梁再塗装、支承交換、電灯交換
平成 22 年度 丹渡橋：橋梁再塗装、電灯交換

「道路ふれあい月間」推進標語の募集

～また歩こう そんな気になる 道がいい～

平成21年度「道路ふれあい月間」推進標語 最優秀作品 青森県 松山 華子さん 13歳(小中学生の部)



国土交通省では、毎年8月を「道路ふれあい月間」として、道路の正しい利用や道路愛護活動の推進に努めていますが、この一環として、**平成22年度「道路ふれあい月間」の推進標語を募集します。**入賞作品は、「道路ふれあい月間」の推進に幅広く活用させていただきます。

平成22年度テーマ

道路は、生活の向上と経済の発展に欠くことのできない国民共有の、つまりあなたの財産です。
みんなが道路と親しみ、ふれあい、常に広く、美しく、安全に、
共に楽しく利用し、子孫に受け継いでいきましょう。

募集要領

- ・応募資格 小学生以上の方から応募できます。
- ・応募方法
 - はがきによる応募の場合
 - 官製はがき1枚に、標語1点と氏名・住所・電話番号・性別・年齢・職業(「小学生」、「中学生」、「一般(高校生以上)」の別)を記入のうえ郵送してください。
 - 送付先：〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3
 - パソコン、携帯電話の電子メールによる応募の場合
 - 必要事項を記載の上、dourohyogo22@mlit.go.jp に送信してください。
 - 電子メールの場合にも1メールにつき1点で応募してください。
 - 学校単位での応募の場合(学年・クラス単位含む)
 - 生徒の作品をとりまとめのうえ、封書又はファイルを添付した電子メールによる一括応募ができます。
 - また、氏名、住所等の必要事項は、学校のものとすることができます。
- ・応募期間 平成22年3月31日(水)まで(当日必着)
- ・その他 入賞者には直接通知するとともに、国土交通省ホームページや機関誌等で発表します。また、「道路ふれあい月間」の期間中に主催者である国土交通省から賞状及び縦を贈呈します。
- ・問い合わせ先 国土交通省道路局道路交通管理課 03-5253-8111(内線37423)
dourohyogo22@mlit.go.jp



詳しくは http://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_000099.html